

福生市教育委員会会議録

平成23年第3回臨時会

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 開催年月日 | 平成23年8月9日(火) |
| 2 | 開始時刻 | 午前10時00分 |
| 3 | 終了時刻 | 午前11時38分 |
| 4 | 場 所 | 第2棟4階 第1委員会 |
| 5 | 出席委員 | 委 員 長 長谷川 貞 夫
委員長職務代理者 平野 裕 子
委 員 加藤 美 子
委 員 渡辺 浩 行
教 育 長 宮 城 眞 一 |
| 6 | 欠席委員 | なし |
| 7 | 出席者氏名 | 教 育 次 長 田 村 博 敏
参 事 佐 伯 英 徳
庶 務 課 長 高 木 裕 道
主 幹 浅 野 正 道
教育センター主幹 笹 本 幸 三
指 導 主 事 並 木 茂 男
指 導 主 事 田 村 亜 紀 子 |
| 8 | 傍 聴 人 | 20名 |

(裏面に続く)

9 議事日程

日程第 1 会議録署名委員の指名

日程第 2 議案第 47 号 平成 24 年度使用福生市公立中学校教科用図書の採択について

午前10時00分 開会

委員長 それでは、ただ今から平成23年第3回福生市教育委員会臨時会を開会いたします。

これより、本日の会議を開きます。

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

福生市教育委員会会議規則第19条の規定に基づき、加藤美子委員、渡辺浩行委員のお二人を署名委員として指名いたします。

次に、日程第2、議案第47号、平成24年度使用福生市公立中学校教科用図書の採択についてを議題といたします。

はじめに、提案理由並びに委員のお手元に配布されている資料について事務局から説明をして下さい。

教育センター主幹 それでは、日程第2、議案第47号、平成24年度使用福生市公立中学校教科用図書の採択について御説明申し上げます。

最初に、提案理由でございますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第6号及び義務教育諸学校の教科用図書無償措置に関する法律の規定に基づき、平成24年度から使用する公立中学校教科用図書につきまして採択する必要がございますことから、提案をいたそうとするものでございます。

続きまして、各教育委員のお手元に配付させていただきました資料について御説明申し上げます。1点目は、福生市立中学校教科用図書選定協議会からの答申書の写しでございます。2点目は、各調査委員会からの報告書の写しで、これにつきましては総括編と教科別発行者ごと、報告編の2編から成っております。3点目は、個人、団体等からの中学校教科用図書の選定に係る各種御要望、意見書等の写しでございます。4点目は、教科用図書の展示会場での来館者数及び展示会場でのアンケート調査の写しでございます。

説明は以上でございます。

委員長 配布資料に漏れはないですね。

本案件の審議の進め方については、はじめに各教科用図書について委員間における御意見等、御発言を願って、意見の交換をしたいと思います。その後、どの発行者のものとするかは各委員から投票を願い、投票結果を事務局において集計し、その結果、最多得票となった教科用図書を採択するという方法で決定いたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 御異議ありませんので、そのように進めさせていただきます。

それでは、去る8月3日に選定協議会からの答申書に記載された各教科用図書の順に、委員の発言をいただき、意見交換を行います。

はじめに「国語」について、意見交換を行います。

御意見のある方は御発言をお願いします。

加藤委員、どうぞ。

加藤委員 国語の調査教科用図書数5社5種について、調査に当たり重視しましたのは「福生市の生徒たちの学力向上に資する」との視点であります。「進んで学習に取り組む意欲」、「知識が増え、技能が高まるか」、「思考力・判断力・表現力を養えるか」、「生徒の実態に即しているか」について調査しました。その結果、三省堂は、各学年の教科用図書の冒頭に古典を載せています。戦後教育の基本は音読であり、声に出して読むことが重要です。それに最もふさわしいのは古典です。古典教材から学習が始まるのは5社中、三省堂だけです。また、本編と別冊資料編の2冊で構成されております。「学びを広げる」という資料編は、学習をより深めたいという生徒に、自学、自習ができ、主体的に学べるようになっております。また、巻末にあります「確かめよう」も、生徒が困ったときなど、簡潔にヒントが出ております。各レッスンごとには「私の本棚」があり、読書へのいざないになっております。情報、環境、国際理解、平和など、現在の課題について学べる教材が載せられ、大きな活字で読みやすく、イラストや図が適所に配置され、学力向上につながる工夫も随所に見られるため、三省堂の教科用図書は本市での使用に最適であると思います。

平野委員 私も加藤委員と同様に、5社5種の教科用図書調査ポイントを重点に置きながら自分なりに見てきました。その中で特に福生市の生徒の実態に即したものであるかということを見つけました。そこで光村図書を選んだのですけれども、国語の基礎、基本の一つである漢字の習得ができやすいように、その学年の新出漢字を始め、それより下の学年の漢字の練習問題や小学校で習った漢字の復習など、家庭学習でも活用でき、また中学校3年間で正確に書けるようにといった構成がされておりました。これは福生の子ども達にとってはいいことではないかと思ったのが一つです。また、文法では習ったことをすぐ確認できるよう練習問題があったり、学年が上がるごとに他学年での学習事項がまとめられたものも一緒に掲載されておりますので、何度も振り返って見直すことができ、確実な学力定着につながるものではないかと思いました。また、巻頭に「言葉に出会うために」

というコーナーを設け、ここでは音読の仕方、ノートのとり方、わからない語句や情報の調べ方など、言葉の力をつけていく基本的な手だてを示し、生徒の意欲を喚起するのではないかと思いました。また、新たに出てくる古典の教材では、カラーの資料を取り込み、古典への興味、関心をいざなうのに効果的に働いていると思います。以上、選定するポイントを十分クリアし、本市の使用に適しているのは光村図書の教科用図書ではないかと思いました。

渡辺委員 私も全体的なバランスで、文章の読みやすいものから難度の高いものまで幅広く捉えているのが光村図書の教科用図書だと思いました。三省堂の教科用図書については2冊構成になっているところが、生徒達に少し負担になるかと感じたところがございます。

教育長 私は、全体的には各教科用図書について特段優位の差は感じませんでした。報告書を見ると「難しい」、「難易度が高い」という表現もありましたが、私は全体を見て感じなかったのですが、ただ学習に対して入りやすさや構成等から見ると、これは比較的問題ですが、光村図書の教科用図書のほうがわかりやすく入りやすいだろうなといった印象でした。

委員長 そうですね、私もお話しさせていただきますと、今教育長が言われたように、教科用図書調査委員会で評価をいただき参考にさせていただいたのですが、そこに出ている程の差はないだろうと感じます。そういうことを考えていくと、一つに御推薦いただいた三省堂の教科用図書についてはある意味で教え方が少し難しいかなと感じました。いろいろな教材が入っているわかりやすさという意味では光村図書の教科用図書もいいのではないかと思います。そういうことで各人が後程御判断ください。

加藤委員 2冊ということ負担になるというお声が多いのですけれども、もう少し高度に勉強意欲のある人にとっては、非常に有意義なものになるかと思いい、三省堂を考えております。

委員長 よろしいでしょうか。

なければ、次に「書写」について、意見交換を行います。

御意見のある方は御発言を願います。

平野委員 書写につきましては6社6種ですけれども、その内の2社が1冊にまとめられ4社は2冊構成ですが、その構成を見ましたときに書写は学校で勉強するだけでなく、中学校卒業後日常の生活でも使うことが多くあったので、1冊構成だと今後も長く使用できるのではないかという点に着目いたしました。その中で学校図書は、半紙大のお手本も幾つも載せており、ま

た書き込み欄も充実していて、お手本を見ながらすぐに練習できるという
ような自ら進んで練習できる構成にもなっております。また、硬筆の教材
も取り上げられていたのですけれども、その中で竹取物語や枕草子等があ
りまして、国語学習との関連も図られているのかなと思いました。ユニーク
なのは、ページの脇にだるまが書いてあり、「書けたらダルマに目を書
き入れよう」とあるのですが、これは子ども達にとっては興味を引くもの
ではないかと思うのですけれども、日本の風習で成就したら丸を入れよと
ありますので、こういうおもしろいところもあっていいのではないかなと
思いまして、私は学校図書を選びました。

委員 長 ほかにも御意見ございますか。

教科用図書調査委員会の評価を振り返ると各社に大きな差は感じまし
たか。

平野 委員 大きな差はなかったと感じました。

加藤 委員 私も教科用図書調査委員会の評価程大きな差はなかったと思うのですけ
れども、3年間で1冊使うことがいいのか、それとも2冊に分冊している
ほうがいいのかを考え、1冊を3年間使うというのはかなり傷みがひどく
なるし、新鮮味もちょっと薄れる部分があるのかなと思いましたので。

委員 長 御推薦したい教科用図書はどれになりますか。

加藤 委員 そうしますと、やはり2冊になっているところがいいことになると4社
の中で、三省堂がよろしいかと思いました。

委員 長 分冊になっている発行者を事務局から教えてください。

指導 主事 東京書籍、三省堂、大日本図書、教育出版です。

委員 長 繰り返しますので確認してください。東京書籍、三省堂、大日本図書、
教育出版が分冊で、学校図書と光村図書が1冊になっているということ
です。私の手元に教科用図書の実物がなかったもので確認させていただきました。
2つの御意見がありました。御判断あるいは追加で御発言あればお願いいた
します。

平野 委員 先程、中学校3年間で1冊を使うと図書が傷むのではないかとお話しさ
れましたけれども、3年間で書写の授業はどの程度行われるのですか。

指導 主事 書写の授業時数は第1学年及び第2学年で年間20単位程度、第3学年
では年間10単位程度でございます。

委員 長 年間20単位ということは、平均にすると週に1回も授業はないのですね。
大変少ないですね。

他にございませんか。

なければ、次に「社会・地理的分野」について、意見交換を行います。
御意見のある方は御発言を願います。

渡辺委員 社会の地理的分野でございますが、4社4種でございます。選定協議会の出した答申に、地理的分野の教科用図書に望む条件として5点程述べられています。それらを踏まえ、またプラスしまして我が国の領土ということについてどれほどの量があるか比べてみました。どの教科書も見やすくなっているなど感じましたが、中でも東京書籍は大きい字で更に見やすいくと感じたところでございます。また、身近な調査の学習としまして、帝国書院は八王子を題材に取り上げられており、非常に親近感を持って学習ができるのではないかと感じたところであります。また、4社ともに北方領土、竹島等についての記述がありました。日本文教出版は尖閣諸島について非常に詳しく記述されており、帝国書院は自分で調べ学習、そして覚えるという工夫がされておりました。各社大変よかったですと感じておりますが、私は、バランスよく要点を満たしているのは帝国書院かなと感じたところであります。

教育長 私も気になったのが領土の問題で、その点については少し時間をかけて見ました。各社、領土の問題にきちんと触れているのですけれども、中学生が理解して学習するという範疇で言えば帝国書院の図書がよろしいかと感じました。

委員長 個々の考え方もそうですし、東京都教育委員会が調査して下さった教科用調査研究資料にも領土問題についてクリアに書いてくれて、それとのそごが余りないようですね。

他にございませんか。

なければ、次に「社会・歴史的分野」について、意見交換を行います。
御意見のある方は御発言を願います。

渡辺委員 歴史的分野7社7種を比べてみました。これも答申にありましたポイントと見やすさ、また学習への入りやすさなどを見比べてみました。教育出版は点字の工夫がされてよかったですと思いました。また、東京書籍は判が大きくて非常に見やすく、また学習への導入も日常の人物をイラストを用いて入りやすく、初めて習う歴史ということについて非常に工夫がされていると感じました。また、答申にもありましたが、注釈の入れ方においてわかりづらい図書が2社程ございました。1つは、注釈で確認するのに20ページも離れてしまう箇所があったので、そこが難点かと感じました。また、年表についてですが、これは一部報道でもありましたように盗用があ

ように生きていくべきなのか、あるいは国際社会に生きる日本人としての基礎や、しっかり養い学べるのか、そんな内容を見比べてみました。また、原子力発電の取り扱いについてどのような記述があるか、先程も述べましたけれども、領土について述べられているものに注意して見比べてみました。確かに学習の導入について非常にわかりづらいものもあるのですが、内容につきまして清水書院、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版ともあまり変わらないと感じたところです。また、7社中6社において原子力発電の安全性という点で記述があり、それと今後これらに代わるエネルギーについての記述が見受けられた図書もありました。私も内容充実等を見ると東京書籍がよろしいかと感じました。

教 育 長 特に公民のところでは、3月の東日本大震災について、今後子ども達にどのように指導していけるのだろうかとか少し注目をしたところであります。先程の渡辺委員から御説明いただいたような状況であったかと思えます。そういう意味で私としてはトータルに見ると清水書院でよろしいかと感じたところがございます。全体的に編集の方針とか考え方の違いが出ている部分もあったかと思えますけれども、そんなふう感じたところがございます。

委 員 長 私も発言させてもらいますけれども、新聞報道等で原子力発電や東日本大震災について非常に深刻な問題として取り上げています。先程、他の教科用図書の意見交換時に、渡辺委員がこれらについては時期的な問題で製本時に間に合わなかったとおっしゃっていましたが、教師の指導力、教師がそういったことを踏まえておくことが大事で、すべての教科に言えるのですが、教科用図書はあくまでも主たる教材で、副教材は個々の先生方が作られるので、視点を現在にこだわり過ぎなくてもよいのではないかと思います。

従って、実際の教師の指導力が主となりますので、先生方を信じて一緒に福生の教育を考えていく上では、清水書院、東京書籍、帝国書院、教育出版は、教科用図書調査委員会の内容よりは差がないものだと考えており、それをどう使うかということで考えると、答申で一番使いやすいと言っている清水書院という考え方もまたできるのではないかと考えております。

他にございませんか。

なければ、次に「社会・地図」について、意見交換を行います。

御意見のある方は御発言をお願いします。

平 野 委 員 地図は2社2種なのですが、帝国書院のほうが横長の大きな判に

なっておりますので、それだけ写真とか資料とか大きくて、生徒が地図帳を利用するのに便利なのかなと思いました。

それから、「地図を見る目」や「やってみよう」といった学習課題が地図帳の中に随所に見られたのがおもしろいなと思いました。地図は単に地図を見て位置関係を調べるだけではなく、見て楽しい、学んで楽しいということが今の地図であるのかなと印象を持ちました。本当に大きな差はないのですが、大きくて見やすい、色使いもこちらが見やすいかなと思い、私は帝国書院を選んでみました。

加藤委員 私も2社に大きな差はないのですが、帝国書院のほうが判が大きくなって見やすく、上手に活用する工夫もあり使いやすいのではないかと思います

教育長 地図帳については、地球の反対側から日本を見るとどのようになるのかということに関心を持って見ていたのですが、自分ではよく見たつもりでいるのですが、帝国書院には大陸から見る日本のページが見開きがありました。東京書籍にはなかったように思うのですが、そういう視点がある意味でおもしろいと見てきたところです。

それから、全体的に色合いから見ても、帝国書院の地図帳がいいかと思っています。

委員長 他にございませんか。

なければ、次に「数学」について、意見交換を行います。

御意見のある方は御発言を願います。

それでは私から口火を切りましょうか。数学について、ほとんど大きな差は各社見受けられません。これは教科用図書調査委員会等から来た話ですが、図書の中には小学校の内容の振り返りが少ないといった、少しの欠点を出しているところもあったのですが、私は中学校の図書において、小学校の内容が書かれていることがいい教科書とは思いません。従って、各社ほとんど差がなく、要は先生方が教えやすさを含めてどのように福生市の子ども達を導いてくださるかですので、比較的すっきりしているイメージの編集が何社かあって、その中で学校図書、東京書籍、教育出版は、私には大きな差は見られません。他もそうなのですが、中でも教科用図書調査委員会の先生方がおっしゃるとおり導入の部分が比較的しやすいというのが確かに教育出版なのかなと思います。副教材の作り方によっては、東京書籍でも学校図書でも数研出版でも大日本図書でもいいのですが、使いやすさからいくと教育出版かなと感じたところです。

他にございませんか。

教 育 長 この教科については本当に各社の比較をするのが難しかったと思いました。これはどこが間違いだろうかという、その囲みがあったり、それで間違いやすい部分だと指摘をされているものがあったり、各社特徴を持たせていると思います。そういう中で全体的にバランスよく見れるという点で、説明やレイアウトなどのわかりやすさから教育出版かなと見たところであります。

平 野 委 員 各社本当に差がなくて、福生の子ども達がどれを使ったらいいかということを考えながら見ていたのですけれども、その中で子ども達が家に帰って自分で勉強しやすいのはどれかという視点でも見てみました。その中で教育出版の中に例題ごとに言葉で内容が書いてあって、生徒が問題の内容を理解しやすいというところもありましたので、これなら学校で聞き逃した箇所も家に帰ってもう一度復習したときにわかりやすいかなと思いました。また、あと裏表紙のほうに公式や図形が一覧になっているので、これも便利に使えるのではないかと思います。

加 藤 委 員 私も各社差がないということは感じたのですが、何か身近な話題を取り上げて関心を引くようにしている東京書籍が一番使いやすいのではないかと思います。

委 員 長 他にございませんか。

なければ、次に「理科」について、意見交換を行います。

御意見のある方は御発言を願います。

教 育 長 理科というのは自分自身にとってもなかなか不得手な教科だというふう
に改めて感じたところで、わからないままというのは理科嫌い、あるいは
理科のつまずきになるだろうと、そんな視点で見させてもらいました。難
解なものというのはいかななものかなと、そんな感じで見たところであり
ます。あるいは一方で、生活の中にはこんな科学がありますよといった生
活と科学的な考え方とのつながりが見える教科用図書がいいのではないか
というのが私の感想でして、そういう視点で各社見させてもらったところ、
各社おもしろい単元がありましたけれども、トータルで見ざるを得ないか
というところから、迷ったのですが学校図書がよろしいかと思っております。

平 野 委 員 この学校図書の中でおもしろいなと思いましたのは、「どんな仕事」とい
うコーナーがありまして、そこで学んだ学習内容に関する職業を紹介して
いるのです。これは先程教育長の所見のとおり、この学習についてはどん

なところに役に立つものだろうかというのがわからないと関心も薄くなるのですけれども、具体的に仕事を紹介されることで学ぶ意義というものも子ども達に出てくるのかなと思い、また未来の科学者をつくるという意味でもこのコーナーはおもしろいなと私は感じました。

加藤委員 私は2社の候補から決めかねておりまして、実験等で事故があってはいけないので注意すべきことが多いと思います。大日本図書は実験の注意事項とか細かく記載があり、そういう点ではいいのかなと思うのですけれども、実際役に立つような内容が記載されているのは学校図書ではないかなと思いました。

委員長 私の結論は学校図書なのですけれども、キャリア教育という面白さも1つの選択理由にあるのですけれども、もう1つは理科離れ、数字離れです。小学生は皆理科が好きだという調査結果がありますが、中学生になると急激に理科を嫌いになります。私も理系の人間で、教育現場におりましたから非常に関心を持って見ていたのです。その意味でこれがどこまで役に立つかわかりませんが、そういったキャリアとの、要するに職業との関連性だとか日常生活との関連性とか、そんなところに視点を向けた珍しい教科書かなと思いました。

また、どうしても小・中学校とも理科の教科書というと、絵が多くあって、その絵は確かに内容と関係しているのだけれども、その絵が本当に必要なのかということもあったのですが、それが比較的少なくすっきりしているという意味では学校図書が一番よかったかと思いました。

他にございませんか。

なければ、次に「音楽・一般」について、意見交換を行います。

御意見のある方は御発言を願います。

平野委員 音楽は2社2種なのですけれども、ほとんどこれも差がありませんでした。その中で取り上げて大きな特色を見るとすれば、教育出版は福生の子ども達が苦手としている創作の分野に関して、とても導入しやすい構成になっているところがありました。楽譜が苦手でも様々な創作の形を示していることで、興味を持って学習することができるという教科用図書調査委員会からも調査結果をいただいていますけれども、音譜が読めないということで音楽嫌いになる子がたくさんいますので、そういう子でも音楽を好きになってもらえる工夫がされているなと思いました。

また、教育芸術社ですけれども、いいなと思いましたものは、福生市では合唱コンクールがとても盛んです。子ども達は、毎年すばらしい指揮を

してくれているのですけれども、その指揮について3年間しっかりと3冊を使って系統的にわかるようになっておりますし、また声の出し方においても、こうすればいい声が出るのだな、いいハーモニーができるのだなと子ども自身が自主的に学べるところはとてもいいなと思いました。本当に迷ったのですけれども、今の福生の子どもの様子、また教育現場の様子を見まして教育出版がいいかなと私は思いました。

渡辺委員 確かに平野委員のおっしゃったとおりでございまして合唱コンクールをやっているの、指揮の説明が丁寧でわかりやすかったので私は教育芸術社がいいなと感じました。

委員長 他にございませんか。

なければ、次に「音楽・器楽」について、意見交換を行います。

御意見のある方は御発言を願います。

平野委員 これも2社からなのですけれども、私の好みから言いますと教育芸術社がいいなと思いました。和楽器をたくさん使っているのですけれども、和楽器の学習は今回の学習指導要領でも重要な改定の事項でもありますし、福生市は「音楽のあるまち」ということで、学校にたくさんの和楽器、また太鼓等があります。それを有効に使えるということも考えて大きな根拠ではないかと思いました。この教育芸術社は各和楽器等も含めて、楽器の基礎、基本をととても大切に取り扱いまして、楽器の構造、基本演奏に関する説明も詳しく載っておりますので、これも子ども達が自ら進んで学べる教科用図書なのではないかと思いました。また、表紙の裏側ですけれども、若手の演奏家の写真とコメントがあり、子ども達とそんなに年の離れていない方達が世界的に活躍しているといったコメントを読むことで、子ども達の励みにもなるのではないかなと思いました。

加藤委員 私も同じく教育芸術社が和楽器の内容が豊富だったので、福生も太鼓にかなり力を入れているので、福生市にはこちらのほうが向いているのではないかと思いました。

委員長 他にございませんか。

なければ、次に「美術」について、意見交換を行います。

御意見のある方は御発言を願います。

加藤委員 3社3種から出ておりますけれども、第一印象として光村図書が非常にすばらしい教材ではないかと思いました。スケッチの学習を効果的に取り入れたり、映像メディアを積極的に活用するなど、生徒が創意工夫して表現し、自分の思いや考えを説明できて、お互いに批評したり、活気するよ

うな活動を行うことができる教材だと思いました。そして、特に絵や彫刻、デザイン工芸、資料の構成が他社に比べてわかりやすかったです。特に感動しましたのは、各図書の2ページの見開きに谷川俊太郎の「美しい」という詩が載っていてとても感動を覚えましたので、この教材がいいなと決めさせていただきました。

平野委員 私も光村図書のインパクトのある大きな見開きの作品に、はっと目を見張りました。加藤委員が谷川俊太郎の詩の話をされましたけれども、他にも二つ折りで閉じられている4面を開くとその作品にもそれに合った詩が載っているのです。だから作品と詩を結びつけているというのが、この光村図書の大きな特色なのかなと思いました。教科用図書の最後にバーコードがついているのですけれども、そのバーコードが学んだ学習のその内容にリンクしたものでデザイン化されているのですね。それを発見した時に思わずにこっと笑ってしまったのですけれども、そういう何げない工夫がされているところがとても美術の教科用図書にふさわしい配慮がされていてうれしいなと思いました。

教育長 最近感じていることの1つとして、デザインが生活の中にどう生きるだろうかというところは関心のあるところでした。光村図書にしても日本文教出版にしても、その点はよくとらえてあるなと思ったところです。美術に詳しくはないところから、何とも言えないのですが、あえて1社だけを選ばなければいけないというところから言えば光村図書であろうかというのが私の感想です。

委員長 他にございませんか。

なければ、次に「保健体育」について、意見交換を行います。

御意見のある方は御発言を願います。

教育長 保健体育、4社4種から出ておりますけれども、若干の編集が変わっていたのがスポーツから保健に図書の編集ができていたものと、それから健康からスポーツへというものがありました。授業の仕方で順番があるでしょうから、どちらが良いということはないだろうと思いますが、今の世の中の流れで言えば、体力のことが問題になるだろうと思います。そういう意味ではスポーツから入っていくというのも一つの手だろうと思いますが、一方で福生市の子ども達のことを考えると、自分達の体、すなわち食育についても大きなテーマだと思っています。私自身は4社とも優位差を感じませんでしたが、そういう意味で学校現場でどのように教えやすさを感じているのだろうかという意味で調査報告なども見せてもらった

結果、東京書籍がよろしいかと感じたところであります。

平野委員 私もこの4社4種の教科用図書を見て、特に優位差は感じなかったのですが、調査委員会がポイントとされた子ども達が興味、関心を持つ、また読みやすく見やすく知識が増え、技能が高まるものを特に考慮しながら見ましたら、東京書籍は各項目のキーワードを表記して、その学習内容に関連した読み物とかクイズ等を使ったりと生徒が興味、関心を持って楽しく学べる工夫がされているか等、一つの章が終わるごとに再確認するための問題や自己評価ができる箇所があって知識の確実な習得も図られているのではないかなと思いました。

また、教科用図書への書き込み欄が多くて、これも主体的な学習につながるのではないかと思います。これらを見まして、福生の子ども達にとっては、自分で学べ、また知識、技能を習得して次に生かせる教科用図書ということで、東京書籍が使いやすいのではないかなと思いました。

委員長 他にございませんか。

なければ、次に「技術・家庭」のまず技術分野について、意見交換を行います。

御意見のある方は御発言を願います。

渡辺委員 答申にもあるように、やはりこの分野は手を動かして覚える教科だと思いますので、内容説明がわかりやすいものがないかなと考えます。また、私の職業柄、わかりやすいという視点からすると教育図書が一番かなと感じたところです。

平野委員 私は技術分野というのが苦手としているところで、見ていてもよくわからなかったのですが、私が何かを作りなさい、何かを栽培しなさいと言われたらどちらを参考にするのかというのも一つのポイントとして見てみました。製作や栽培の種類も多く、教科書全体がゆったりとしたとても見やすい紙面構成、わかりやすい丁寧な説明である教育図書であれば私も何とかできるのかなといった印象と、また先生方の調査されたコメント等を参考にいたしまして、教育図書を選んでみました。

委員長 この技術分野はクリエイティブであるべきだと思うのです。要するに作る形が最初から決まっていて、図面があり、それを組み立てるという方式ではないものがないと思います。それに適するだけのものが技術分野だけではできない。今回の指導要領すべての分野がコーディネーションしなくてはいけないということなのですが、そういう意味ではそれぞれもう少しだとは思ったのですが、現状では皆さんのおっしゃった教育図書が

バランスがとれているかなというところでした。

他にございませんか。

なければ、次に「技術・家庭」のまず家庭分野について、意見交換を行います。

平野委員 家庭分野3社3種なのですけれども、これは私が日常している事柄が書いてありますので、大変関心を持ちながら拝見させていただきました。その中で東京書籍は、写真や挿絵等、配色が良く見やすく思いました。特に調理実習の場面では、お料理の写真がとてもきれいに載っておりまして、これだったら作ってみたいという気持ちがわくのではないかと思います。また、裁縫の実習にしましても実習前に家庭でそれを見て自分でできる位の細かい写真等で手順が載っておりますのでとてもいいなと思いました。また、身につけたい技能ということで基礎技能をしっかりと掲載しております。これは将来も役に立つのではないかと思います。あと他社の教科用図書と比べまして、この製本は、実習時に汚れやすい状態になっても汚れが付きにくい仕上げになっているのではないかと感じました。それらの点を考えてみましても、福生の子供達にはこの東京書籍の教科用図書を使わせてあげたいと思いました。

加藤委員 どの教科用図書にも玉結び、玉止めということがわかりやすく出ていましたし、この3社はそれ程違いはないかと思います。ただし、東京書籍は字が大きく見やすかったり、写真もきれいでしたので、東京書籍かなと思いました。

委員長 他にございませんか。

なければ、次に外国語で英語について、意見交換を行います。

御意見のある方は御発言を願います。

加藤委員 小学校で英語授業が始まっていて、どちらかというと挨拶等の身近なコミュニケーションの場面を設定して教育活動を行っていると思います。中学校では小学校の外国語活動を踏まえて、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの4技能をバランスよく育成して総合的に充実していくという教育になると思っております。それで6社の中では三省堂のNEW CROWNが世界の様子、地域について考える地球規模の話題性の高い教材が扱われており、レッスンごとに4技能をバランス良く鍛えられるよう教材に配置されているのではないかと考えています。

平野委員 英語6社6種あったのですけれども、どの教科用図書も平和についてや環境問題等、国際理解を深める今日的な題材が使われているのが大きな特

色だと思いました。同じ題材ではあっても、その発行者によって難易度の違いが出てきているのかなと感じたのが英語でした。その中でも英語って楽しいのかなという期待感を持ちながら導入できるように工夫されているのが、先程加藤委員がおっしゃいました三省堂かと思いました。ゲームやクイズを入れたりして、英語へ入っていけるというのも一つの工夫かと思いました。

あとは巻末の付録に発展的な読み物、文法、発音、単語の意味等もまとめて配置されておりましたので、これらも上手に利用すれば、子ども達の実態とか指導のねらい、そういう啓蒙活動等をいろいろ考えてみまして、この教科用図書だけでもやっていけそうかなと思い、私は三省堂のNEW CROWNが使いやすいのではないかと思いました。

教 育 長 今のお話にもありましたが、中学校へ行って英語嫌いを作らないというのが一つの視点だと思っていて、そういう視点で見させてもらいました。例えば三省堂や学校図書、東京書籍は、それぞれ特徴があつておもしろいなと見たところであります。そういう中で1社を選ぶとすれば、三省堂でよろしいかと思っています。

委 員 長 確かに、中学校で初めて教科用図書を使うとすると、使用の方法によってはおもしろいと思う図書も中にはあるのですけれども先生方に戸惑いがあるようで、それを考えると三省堂になるのですが、他社に比べとてもいいということではなくて、むしろ編集上のことで教員が使いやすいのかなという感じを持ちました。

他にございませんか。

ないようですので、以上で、各委員の発言、意見交換を終わります。

それでは、これから各委員による採択図書についての投票を行います。

事務局から投票用紙を配布してください。

投票用紙は受け取りましたか。

配布漏れはありませんか。

記載を願います。

書き終わりましたでしょうか。

次に、投票を行います。

ただ今から、投票箱を改めます。

投票箱の確認についてはよろしいですか。

では、順次投票をお願いいたします。

投票漏れはありませんか。

投票箱を閉じます。

事務局において、集計の上、報告願います。

なお、集計については、渡辺委員に立ち会いをお願いいたします。

それでは、暫時休憩いたします。

(休 憩)

委 員 長 休憩前に引き続き会議を開きます。

集計がまとまったようでございますので、庶務課長より集計結果の発表をお願いいたします。

庶 務 課 長 それでは、投票の集計結果を発表させていただきます。

国語、三省堂1票、光村図書4票。書写、学校図書5票。社会の地理的分野、帝国書院5票。歴史的分野、東京書籍5票。公民的分野、東京書籍2票、清水書院3票。地図、帝国書院5票。数学、教育出版5票。理科、学校図書5票。音楽、一般、教育出版4票、教育芸術社1票。器楽、教育芸術社5票。美術、光村図書5票。保健体育、東京書籍5票。技術・家庭、技術分野、教育図書5票。家庭分野、東京書籍5票。外国語、英語、三省堂5票。以上でございます。

委 員 長 以上のとおり集計されました。

再度、最多得票の図書について、事務局より確認を願います。

庶 務 課 長 それでは、最多得票の図書について発表をさせていただきます。

国語の国語、光村図書。書写、学校図書。社会、地理的分野、帝国書院。歴史的分野、東京書籍。公民的分野、清水書院。地図、帝国書院。数学、教育出版。理科、学校図書。音楽、一般、教育出版。器楽、教育芸術社。美術、光村図書。保健体育、東京書籍。技術・家庭、技術分野、教育図書。家庭分野、東京書籍。外国語、英語、三省堂。以上でございます。

委 員 長 お諮りします。

平成24年度使用福生市公立中学校教科用図書につきましては、以上の投票結果のとおり決定したいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委 員 長 御異議なしと認めます。よって以上のとおり決定いたします。

委員の皆さんからはその他、何か御発言などありませんか。

以上で、本日の日程は全て終了しました。

これもちまして、平成23年第3回福生市教育委員会臨時会を終了いたします。

午前11時38分 閉会